

神戸市交通局

市バスを活用した災害時車々間通信の実証実験を実施しています

【実験の概要】

神戸市交通局は、株式会社三菱総合研究所・本田技研工業株式会社などに協力し、以下の実証実験を実施しています。

- (1) 災害時の携帯電話不通時を想定した車々間通信（アドホックネットワーク）の実証実験を行います。市バス約20台に設置した車外カメラで撮影した道路状況を、アドホックネットワークの仕組みを使い、すれ違う市バスに伝播させ、各営業所に集約、その情報をサーバーに送信して遠隔で把握できるかの実証実験を行います。
- (2) 街中で人に付けたBLEタグが発信する情報を、通過する市バスが獲得できるかの実証実験を行います。

この実証実験は、総務省の調査費を活用して3月末まで実施し、この結果を踏まえ災害時の情報提供手段の可能性を探るとともに、徘徊老人や子どもの見守りなどに活用できないかを検討します。

平成29年4月より市バスのバスロケーションシステムで活用している車載器のWiFi機能を活用し、上記(1)

(2)の実験の中でどこまで高速で広範囲の送受信が可能となるかについても検証します。この検証では、三菱総合研究所・本田技研工業関連メーカーの技術を駆使し、人やビルの密集度別の受信レベルなどについての分析を実施します。

【実施期間】

平成31年1月28日～3月末

【実施エリア及び使用バス台数】

- ・魚崎、石屋川、中央、松原、落合の各営業所管内のバス路線
- ・上記営業所の市バス車両約200台

西神・山手線新型車両6000形の試乗会を開催しました

新型車両の営業運行開始に先立ち市内在住・在勤・在学の方を対象に試乗会を開催しました。

(日時) 平成31年2月9日(土)、10日(日)の両日に2回ずつ、計4回開催
(行程) 西神中央駅から新神戸駅
(参加者) 事前に申し込みいただいた約4,000名のうち、抽選で約1,000名の方に参加いただきました。



【新型車両6000形について】

市営地下鉄西神・山手線では25年ぶりとなる新型車両6000形は、3種類のデザイン案から市民の皆様にご投票いただき決定した愛嬌のあるデザインになっています。既存車に比べ、ホームドアとの連動対応、火災対策の強化など、安全性を向上させています。また、車椅子・ベビーカーをご利用の方、体の不自由な方やお子様連れの方等にご利用いただきやすい優先スペース・優先座席を設けるなどバリアフリー対応や、座席幅の拡張・窪み付きシートの採用など快適性向上、各種照明のLED化など省エネ性向上にも考慮した仕様となっています。今後5年間で順次全28編成の更新を行う予定です。

《問い合わせ》経営企画部総務課
電話 078-322-5924